



# カナナスキス・サミットの機会に公表された 我が国の教育支援策について

## (1) 低所得国に対する教育分野への支援の強化

ダカール行動枠組みの目標達成に困難を抱えている低所得国を支援するため、向こう5年間で教育分野へのODAを2500億円以上行うこととする。

## (2) 基礎教育分野への支援の強化

教育分野の中でも、特に人々が生活する上で基礎となる知識、価値、技能を取得するために不可欠な基礎教育分野については、途上国が行う基礎教育普及のための取り組みを支援するため「成長のための基礎教育イニシアティブ (BEGIN: Basic Education for Growth Initiative)」に沿って、ODAを通じた協力を強化していく。

### BEGIN概要

#### 1. 支援に当たっての基本理念

- 途上国政府のコミットメント重視と自助努力支援
- 文化の多様性への認識・相互理解の推進
- 国際社会との連携・協調(パートナーシップ)に基づく支援
- 地域社会の参画促進と現地リソースの活用
- 他の開発セクターとの連携
- 我が国の教育経験の活用

#### 2. 重点分野

- 教育の「機会」の確保に対する支援
- 教育の「質」向上への支援
- 教育の「マネジメント」の改善

#### 3. 我が国の新たな取り組み

- 現職教員の活用と国内体制の強化(「拠点システム」の構築)
- 国際機関(ユネスコ、ユニセフ等)との広範囲な連携の推進
- 紛争終結後の国造りにおける教育への支援